

輸送動向について(平成22年3月)

平成22年4月

1. 輸送概況

今月は、下旬に関東・東北地方において強風による輸送障害が発生したほか、2月末に発生したチリ沖地震の津波に伴う運転規制の影響により、月全体では、高速貨85本、専貨1本が運休した。

荷動きについては、アジア地域の景気回復を受けた輸出産業等の生産拡大により、月全体を通して前年を大きく上回った。

コンテナ貨物は、農産品・青果物、積合せ貨物が前年を下回ったものの、自動車部品、化学薬品、化学工業品、家電・情報機器などが前年を上回り、全体では前年比111.2%となった。農産品・青果物は北海道地区の野菜類が減送となった。一方、自動車部品、化学薬品、化学工業品は、昨年大幅な減産が行われた反動に加え、輸出産業の生産回復により大きく増送となった。また、家電・情報機器は、メーカーのモダシフトへの取組みが進展し増送となった。

車扱貨物は、石油、セメント・石灰石など主要な品目が前年を上回り、全体では前年比106.9%となった。石油は価格の先高感及び昨年輕油の出荷が低調となった反動から増送となった。また、セメント・石灰石は昨年大幅な減産を行った工場の生産回復に伴い増送となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月計		前年比	年度累計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,952	1,755	111.2%	20,358	22,178	91.8%
車扱	1,024	958	106.9%	10,690	10,905	98.0%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	164	177	-13	92.7%
	化学工業品	176	143	33	123.1%
	化学薬品	140	107	33	130.8%
	食料工業品	282	276	6	102.2%
	紙・パルプ	278	256	22	108.6%
	他工業品	149	116	33	128.4%
	積合せ貨物	210	212	-2	99.1%
	自動車部品	81	42	39	192.9%
	家電・情報機器	41	33	8	124.2%
	エコ関連物資	34	31	3	109.7%
	その他	397	362	35	109.7%
	コンテナ計	1,952	1,755	197	111.2%
車扱	石油	723	679	44	106.6%
	セメント・石灰石	117	96	21	122.4%
	車両	93	91	2	102.4%
	その他	90	93	-3	97.5%
	車扱計	1,024	958	66	106.9%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)